



TITLE:

月世界の地理

AUTHOR(S):

古川, 龍城

CITATION:

古川, 龍城. 月世界の地理. 天界 1921, 2(14): 8-10

ISSUE DATE:

1921-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159651>

RIGHT:

月世界の地理

古川 龍城

地球上の地理を實地に研究しようと思へば多大の時間と旅費を拂うて、汽車、汽船に乗り、或は徒歩してやつと目的地に到達した上でなければならぬが、遠く三十八萬四千キロを距てる彼の月の世界の地理を一通り學ばうとするには却つて甚だ便利なもので、自己の任意の場所から、其の天空高く冴え渡る月球を凝視しさへすると、明暗凹凸種々な模様が一目に見える。是れ即ち早や、學習者が月面上に旅行して實地の探索を初めて居るのと同様である。同様である所か、眞に初めて居るのである。大抵の所は讀者が親から譲り受けた肉眼鏡でも見えるが、若し讀者にして十圓か、二十圓かを奮發して一挺の雙眼鏡を得られるならば、尙一層明瞭に、大きくお月様は眼前に現はれて、地理の實地研究は大に進捗する事受け合ひである。

扱て是れから自分は雙眼鏡より少々能率の勝れた望遠鏡を以つて満月を觀望し、そして其の概略を述

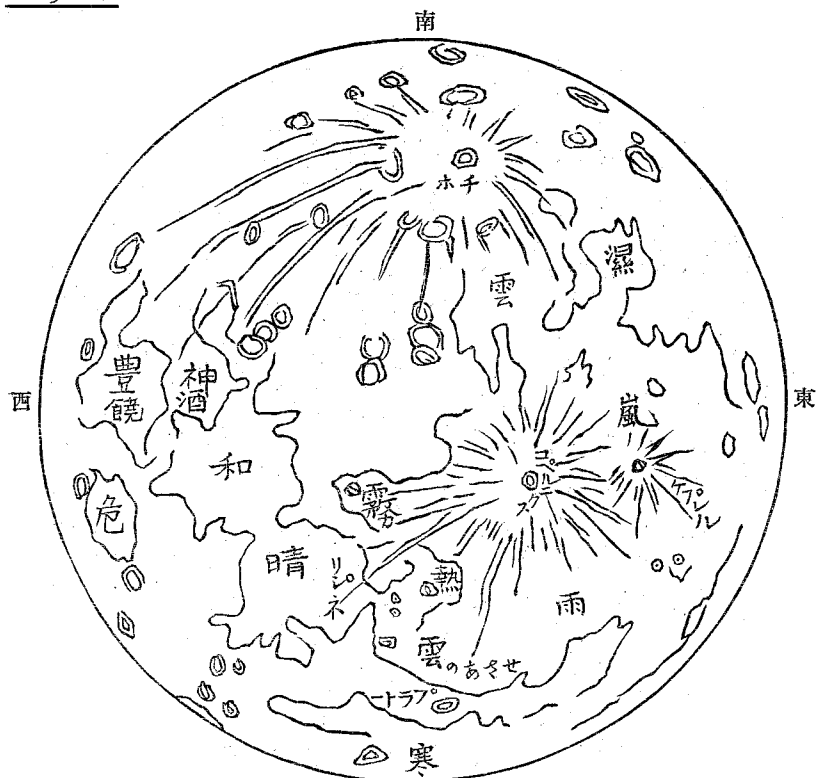
べる事とする。

先づ肉眼で月面を觀望すると、明るい背景に薄暗い不規則な模様のあるのが見えるであらう。明るい部分が陸地で暗い部分が海であらうとは昔の人が考へた處であるが、兩方とも皆陸地で、其れも到つて殺風景な陸地であつて、到底地球上では見られない沙漠より尙ひごい所ばかりである。其れは何處も同様に植物も、風雨も、水流も一切の活動すべきものが影を没して唯天地靜寂の中にむくつけない岩石の轉々するのみで、斯んな景色の中には半日も辛抱が出来ない嫌な物凄場所である。

其の言ひ様もない寂寞と物凄さをちつと我慢して、其れでも少々探險の役目を果さねばならぬ。

満月の際全體の暗い模様を色々故事附けて、古の人は兎などに見立てたが西洋人の想像した所を取り次ぐと驢、蟹、少女の讀書、婦人の横顔などに見立て、居る。

以上の蟹の圖などを頭に入れて置くど直ぐ其の薄暗い模様等が大體記憶が出来て便利である。其れで早速其の暗い部分の探險に取り掛らう。其れには挿



圖を取つて見れば、^{あふ}危の海と云ふのは、獨立したもので三日月の頃から其の中央によく見える。尤も海と云つても水も無く涸れた海の底である。以下も同様である。次に月面の薄暗い部分を蟹と見立て、其の缺の兩端をなして居るのが豊饒の海と云ふ。其れから神酒の海、和の海、晴の海、寒の海、霧の海、熱の海、雲の淺瀬、雨の海、嵐の洋、其他未だ色々の海もあるが、此れ位にして、次に噴火口や山脈には、第一に目に附くのはチホと云ふ山で其處から白き線條が放射されて居る様に見えるので有名である。コペルニスクも亦大きい噴火口で直徑五十六哩、同じく放射物に圍まれて居る。ケブルは前者より小さいが矢張り放射物がある。アペナイン山脈は雲の海の岸に蟠まり、アルプス山脈も同じく其の岸を廻つて居る。カウカサス山脈は前記二山脈の中央に位する。其他幾多の噴火口には一々名が附いて居るが多くは古代の有名な天文學者の名前を借りたもので、山は地球脈上のもの

のを借用してある。

本誌第十二號にビケリングの月に關する報告中に記されて居るエラストステチスは雲の海の中にあり、アリスチルスは直ぐ其の隣りにある。

又ビケリングが雪が降つたとか霜が凝固したとか言ふ山脈はアペナイン山脈で、煙が立ち上つたとか言ふシユレーテルの谷はケブレル山の隣りにある。

晴の海の中にある極めて小さいリンネ山は消失したとか再現したとか屢問題になる山である。

もつと詳しく書いてもよいが、餘り初めから詳しく習ふと却つて忘れ易いから、大略に止めた。讀者試みに挿圖を月の明るい夜戸外に持ち出し、肉眼でもよいが、雙眼鏡があれば猶更便利である。其れで此の圖と一々對照すればよい。海の名の附く所は總べて黒い所と了解されたい。噴火口は幾千と云ふ程あるが一々覺える事は出来ない。チホ、コペルニクス、ケブレルの三つを最初に習ひ、次に細かいのに進むとよいが、此の圖では間に合はない。(終り)

消息 理學士百濟教猷氏(會員)は今回東京天文臺技師に任ぜられた。

一時望遠鏡の製作法

中 村 要

星好きな人が望遠鏡無しには不満足である。月の山一つ見たくても器械が無い。器械が欲しくても器械は高い。遂に自分で作つて居られる方は可なり有る事でせう。其の方々及び望遠鏡を持たない方々の爲に最も徳な安價なる望遠鏡製作法を申上げる。題を見て一時ではと言はれる方が有るかも知れないが勿論此の一時は單レンズであるから色消レンズを使つたのには及ばないが、實際觀測の部を見て下されば随分と仕事が出来ものである事がわかるでせう。

此の文に出ている術語の分からぬ人は中學程度の物理學書を讀まれたし。

製作する望遠鏡の種類は色消レンズでない單レンズの對物レンズを使つた口径一時の屈折望遠鏡である。屈折望遠鏡で最も簡單なものは普通の物理學書に書いてある一箇の對物レンズと一箇の接眼鏡を使つたのであるが、實際問題としてあの様に簡單に作